

<p>有限責任中間法人青森県作業療法士会広報誌</p> <h1 style="font-size: 4em;">Wa!!</h1> <p>ーweb版ー</p>	<p>ー創刊号ー</p> <p>有限責任中間法人 青森県作業療法士会 広報誌Wa!!-web版-</p> <p>○発行日： 平成20年8月28日</p> <p>○発行責任者： 有限責任中間法人 青森県作業療法士会 小山内隆生</p>
---	--

ー広報誌「Wa!!-web版-」創刊の挨拶ー

有限責任中間法人青森県作業療法士会
会長 小山内隆生

読者の皆さん、おひさしぶりです。このたび、青森県作業療法士会広報誌 Wa!!が、再刊行されることになりました。

そこで、作業療法と青森県作業療法士会についてひとこと説明させていただきます。作業療法とは「身体または精神に障害のある者、またはそれが予測される者に対し、主体的な活動の獲得を図るため、諸機能の回復、維持および開発を促す作業活動を用いて治療・指導・援助を行うこと（定義:社団法人日本作業療法士協会）」とされています。そして作業療法士とは、この作業療法を行う専門職です。

現在、青森県内では、病院、施設等で400人以上の作業療法士が働いております。青森県作業療法士会は、県内における作業療法士の地位の向上と、作業療法の普及啓発を通して県民の福祉に寄与することを目的として作られた組織です。これらの目的を達成する為に、青森県作業療法士会は、研修事業の強化による作業療法士の技術の向上や公開講座等の青森県における作業療法の普及啓発の促進のため有限責任中間法人化等の組織改革を行ってきました。

今回、再刊行となる Wa!!を通して、作業療法をより深く理解していただきたいと思いますので今後ともよろしくお願い致します。

精神障がいに対する支援①

—作業療法士の関わり—

—精神障がいと作業療法—

作業療法は、医師の指示により様々な症状を改善したり、以前行っていた行動や能力を取り戻していく為に開始されていきます。

主な対象疾患とその症状は、統合失調症（幻聴や幻覚体験、思考の歪曲）、気分障がい（躁状態やうつ状態）、神経症（心因により精神症状や身体症状が見られる）、アルコール依存症（アルコール摂取を止められず後に精神症状や身体症状が見られる）等があげられます。

作業療法を行なっていく際、作業療法士はまず患者さんについて現在の状態を把握し、その中でどの面を改善していくのか、本人の能力を引き出すには何が必要か、今後どのようにしていくのかを総合的に捉えて、治療の目標や内容を具体的に決めていきます。

治療は個々に応じた治療目標に向けて、手工芸やレクリエーション（生活習慣の回復・エネルギー発散・行動のコントロール）や外出・公共場面での活動（適応力・社会性を取り戻していく）生活技能訓練（再発防止、対人交流の取り方、認知や問題解決の獲得）等があります。治療場所は作業療法室や病棟、公共の場等で行います。作業療法士は、患者さんと共にこれらの治療を通して、社会復帰に向けて、患者さんが主体的に活動していけるように援助していきます。

くむつ総合病院 メンタルヘルス科
作業療法士 福士敏広



一入院における作業療法一

精神科の入院は、イライラして落ち着かない、数日間、眠った気がしないなど自ら不調を訴えて入院する場合がありますが、家族など周囲の人から精神科受診を勧められ、そして入院する場合も少なくありません。

入院当初は、やはり服薬と休養が優先され、普段の自分を取り戻すことに専念します。その後、回復するに従い、退院後の生活内容とその中での自分の役割について考えて行きます。

しかし、個々にうまく話せない・会話をする時に緊張してしまうコミュニケーションの問題や家事に自信が持てないなどの自己能力に関する様々な問題を持ち、社会生活の過ごし方に大きな不安を抱えています。

この時に作業療法士は、作業活動を利用して生活場面における適正な行動の獲得を援助します。作業活動は、グループ活動の交流によるコミュニケーション能力向上や、生活技術（調理・買物における金銭管理等）の獲得など具体的に学習する場面を作り出し、生活における不安解消を図ります。



また、ここで大切なのは、自分のペースを考えて、1つずつ課題を克服し、徐々に生活のリズムを整えていくことです。さらに家族あるいは友人といっしょに無理をせず生活できる範囲を考えることも重要です。そのために作業療法士は、ゆとりを持って社会生活が過ごせるように働きかけて行きます

＜青森市立浪岡病院

作業療法士 古川功＞

一 広報誌「Wa!!-web版-」創刊に至る経緯 一

青森県作業療法士会では、作業療法の存在を県民の皆様に幅広く知ってもらう活動として、平成12年度より、高校生の病院施設見学を実施しています。その活動をより強化したものが広報誌であり、その中の記事は、青森県作業療法士会所属の会員に執筆してもらいました。平成16年度より、印刷物（年2回発刊）として作業療法関連施設を中心に配布してきました。

この広報誌は、青森県作業療法士会が法人化される過程において、広報活動をホームページ中心とするよう路線変更した為、平成18年度を以って廃刊となりました（印刷物として発刊した広報誌の内容は、現在、青森県作業療法士会ホームページ上で見る事ができます。）。しかしながら、廃刊を決めた直後より、広報誌発刊を希望する声がありましたので、これらの状況を1年間に亘って検討し、その結果、再度、ホームページ上で創刊することを決めました。以上が創刊の経緯となります。広報誌「Wa!!-web版-」は、過去に発刊したものと少し味わいが違うかも知れませんが、今後ともご愛顧くださるようお願い申し上げます。

掲 示 板	
<p>公開講座：「脳卒中発症から 地域生活までの体験談」</p> <p>◇講 師：一般の方 ◇日 時：平成20年11月 8日（土） 13：30～15：00 ◇場 所：八戸総合福祉会館</p>	<p>一次号の予告一 精神障がいに対する支援② ～作業療法士の関わり～ 平成21年2月発行予定 ※都合により掲載内容が変わることがあります。</p>
<p>公開講座：「認知症ケアの現状 ー認知症を取り巻く制度と課題ー」</p> <p>・講 師：土岐浩一郎氏 ・日 時：平成20年11月16日（日） 13：00～16：00 ・場 所：弘前駅前市民ホール</p>	<p>有限責任中間法人 青森県作業療法士会 事務局</p> <p>〒036-8564 弘前市本町66-1 TEL & FAX : 0172-39-5991 ホームページ : http://www.aomoriot.org/</p>

有限責任中間法人青森県作業療法士会は、命を大切にすることを育む県民運動に協賛しています。